

関連商品カタログをご参照ください。

※破砕実験動画を
インターネットホームページにてご覧いただけます。
<http://www.hardglass.co.jp/products/safeglass.html>



■総合ハードグラスドアシリーズ



■ガラスの間仕切り ガラスムーブスクリーン



■優しい光を「ハードペアガラス」



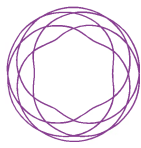
■耐久性の極め「ハーディクランヒンジ」



JQA-QMA16376
JQA-EM7694



MS
CM009



地域未来牽引企業



URL <https://hardglass.co.jp>
ハードグラス工業株式会社



本社 〒664-0831 伊丹市北伊丹7-79 Tel.072 (784) 3671 Fax.072 (770) 7400
東京支店 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-21-13 Tel.03 (5420) 5911 Fax.03 (5420) 5912
(ファーストスクエア五反田9F) E-mail: hard.tokyo@rice.ocn.ne.jp
E-mail: hard11@dream.com (設計)

札幌営業所 〒069-0833 江別市文京台42-9 Tel.011 (386) 1651 Fax.011 (386) 1652
E-mail: hard.sapporo@eagle.ocn.ne.jp
仙台営業所 〒983-0002 仙台市宮城野区蒲生1丁目4-24 Tel.022 (762) 7338 Fax.022 (762) 7339
E-mail: hard.sendai@swan.ocn.ne.jp
名古屋営業所 〒452-0811 名古屋市西区砂原町106 Tel.052 (307) 4680 Fax.052 (307) 4681
E-mail: nagoya.1@hardglass.co.jp
福岡営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉2-16-1 Tel.092 (291) 6510 Fax.092 (282) 1030
(メゾン住吉2F) E-mail: hard.fukuoka@galaxy.ocn.ne.jp

本社第1工場 〒664-0831 伊丹市北伊丹7-79 Tel.072 (784) 3671 Fax.072 (770) 7400
本社第2工場 〒664-0831 伊丹市北伊丹7-76-1 Tel.072 (784) 3671 Fax.072 (770) 7400
川西工場 〒666-0025 川西市加茂6丁目116 Tel.072 (758) 9721 Fax.072 (758) 9725
空港第1工場 〒664-0844 伊丹市口酒井3丁目3-30 Tel.072 (773) 4533 Fax.072 (773) 4535
空港第2工場 〒664-0842 伊丹市森本9丁目27 Tel.072 (785) 6800 Fax.072 (785) 6801
北伊丹工場 〒664-0831 伊丹市北伊丹8丁目126-1 Tel.072 (789) 9690 Fax.072 (789) 9691
本社物流センター 〒666-0025 川西市加茂6丁目97-1 Tel.072 (756) 7077 Fax.072 (756) 7080

北海道物流センター 〒069-0833 江別市文京台42-9 Tel.011 (386) 1651 Fax.011 (386) 1652
仙台物流センター 〒983-0002 仙台市宮城野区蒲生1丁目4-24 Tel.022 (762) 7338 Fax.022 (762) 7339
東海物流センター 〒452-0811 名古屋市西区砂原町106 Tel.052 (307) 4680 Fax.052 (307) 4681
東金物流センター 〒283-0048 千葉県東金市幸田867-1 Tel.0475 (71) 2971 Fax.0475 (71) 2972
恵比須倉庫 〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町7-4 Tel.045 (441) 3793 Fax.045 (461) 6547

(株)ハーディ 〒666-0025 川西市加茂6丁目101-1 Tel.072 (755) 0500 Fax.072 (755) 0501
E-mail: hard91@dream.com

●お問い合わせは



防災安全合わせガラス
HARD GLASS

ガラスにおける台風・地震の被害軽減
また、衝突事故における被害軽減

「防災安全合わせガラス」は、地震時の家具転倒や台風時の飛来物の衝突に対し、耐貫通性の優れたガラスですが、あらゆる被害、および事象に効果を発揮するわけではありません。



強化ガラスを正しくお使い頂くために〈警告〉

強化ガラスは強度が高く、また万一割れても破片が細かい粒状となり、安全性の高いガラスですが、外力が加わっていない状態で不意に破損することがあります。

強化ガラスの注意すべき特性

1.) 不意の破損の原因

強化ガラスは、ガラスの表面に圧縮応力層があり、それとバランスさせてガラス内部に引張応力層があります。ガラス表面にできた傷が成長して、ガラス内部の引張応力層に達した場合に、外から力が加わっていない状態でも不意に破損することがあります。

外部からの傷としては、硬いものなどの衝撃、溶接の火花、風による飛来物によるものがあります。また、ガラス中の引張応力層に残存する不純物の体積変化に起因し、外から力が加わっていない状態でも不意に破損することがあります。

2.) 破損の際の形状

●破損の際は、一瞬にしてガラスの全体が破砕します。

施工条件によっては、破損時にガラスが脱落することがあります。

●破片は、ばらばらになることもありますが、破砕しても離れずに大きな塊になることもあります。

3.) 被害発生の可能性

●近くに人がいた場合、ガラスの破片を浴びたり、頭上から落下してきた破片に当たりたりして被害を被ることがあります。

●小さな破片が落下した場合、下にいる人に当たり刺さったりし、ケガを負わせる恐れがあります。

●大きな破片の場合、下にいる人に当れば、ケガだけでなく、命に係わる事故となる恐れもあります。

被害の発生を避けるための措置

強化ガラスの破片落下による被害をさけるために、板硝子協会では、次のような措置を推奨します。

1.) 硝子が脱落しにくい施工法について

●シーリング材やグレーディングチャンネルによる施工は、破損時にガラスが脱落しにくい施工法ですので、お勧めします。

2.) 強化ガラスの飛散防止措置について

次の部位に強化ガラスを使用される場合は、強化合わせガラスにする等の飛散防止措置をとられることをお勧めいたします。

●アトリウムなどの屋根、トップライトなど水平に近い状態で使用して、破損して脱落した場合に人がケガをする恐れがある場合。

●一般の窓など垂直な壁面に使用する場合、破損して脱落したときにケガをする恐れがある場合。

●枠を使用しない手摺など、破損時に人が転落する危険性がある場合。

設計上のご提案

●ガラスが破損し、落下した場合に被害を避けるために、次のような措置をとられることをお勧めします。

●ガラスの大きな破片が、下まで落下しないように、**庇などを設置**する。

●ガラスの破片が落下する地点に、人が近づくことがないように、**グリーンベルトなどを設置**する。



このカタログは再生紙を使用しています。

2021.4.10 3000